

平成27年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名		文化団体育成助成事業							担当部		教育委員会事務局			
	会計区分		一般会計			事業類型		実施計画事業以外			担当課		文化振興課		
	事業期間		平成14年度			～			平成31年度以降			担当係		文化振興係	
	総合計画 分野別計画	主目的	4 教育文化			15 文化振興			2 団体の自主的な文化芸術活動を支援します						
		副目的										実施計画対象			
	予算区分		款	10	項	5	目	5	大	5	中	1			
	根拠法令・個別計画		小牧市文化振興ビジョン												
	目的 (対象をどの様な 状態にするのか)		・市内文化団体を育成し組織の活性化を図るとともに、多くの市民が文化活動に目を向け、参加できる環境づくりをする。 ・小中学生に対して、学校だけではできない分野の指導を受けられるようにし、文化活動の育成を図る。												
	内容 (手段)		○26年度実施内容 ・文化協会運営に対する補助金(1,000千円) ・文芸誌「駒来」補助金(380千円) ◇総合文化祭 展示の部(美術・文芸)5月20日～25日、展示の部(生花・茶)5月24日・25日 芸能の部 5月25日 ◇文化講演会 2月26日 職員は、文化協会役員会(年6回程度)、文化協会常任理事会(年6回程度)開催のため庶務事務及び調整を行う。 ・文芸協会に文芸誌「駒来」発刊への補助金(380千円)毎月発行 ・ジュニア育成文化活動事業委託 伝統文化の指導者として文化協会会員を学校に派遣した。ジュニアクラブ化推進委員会の中で組織された美術と演劇について、成果を披露できる機会を提供した。 ジュニア育成文化活動事業委託(657千円) 講師派遣250人(内夏休み文化体験教室42人) ジュニア美術クラブ育成事業委託(262千円) 24回実施 ジュニア演劇クラブ育成事業委託(290千円) 22回実施 職員は、学校からの派遣依頼に基づき文化協会と調整し学校に連絡を行う。 ・文芸誌「駒来」配布用他消耗品費等(244千円) ○27年度実施内容 ・ジュニア育成文化活動事業委託料(1,360千円) ・研修用バス借上料(284千円) ・文化協会補助金(1,000千円) ・文芸誌「駒来」補助金(380千円) ・文芸誌「駒来」配布用他消耗品費等(249千円)												
	受益者負担		無												

コスト			単位	H24決算額	H25決算額	H26決算額	H27予算額	
	費用	直接経費		千円	2,958	3,842	2,833	3,273
		正職員	従事者数	人	0.10	0.10	0.10	0.10
			人件費	千円	526	526	526	526
		その他職員	従事者数	人	0.50	0.50	0.50	0.50
			人件費	千円	1,281	1,081	1,106	1,148
		費用合計		千円	4,765	5,449	4,465	4,947
		対前年比		%		114.3	81.9	110.7
	財源	一般財源		千円	4,765	5,449	4,465	4,947
		国・県支出金		千円	0	0	0	0
		その他財源		千円	0	0	0	0

業 績	活動指標名	単位		H24	H25	H26	H27
	小牧の文化発行	回	目標	2	2	1	3
			実績	1	1	0	
	文芸誌「駒来」発行	回	目標	12	12	12	12
			実績	12	12	12	
	総合文化祭の開催	回	目標	1	1	1	1
			実績	1	1	1	
	成果指標名	単位		H24	H25	H26	H27
	文化協会会員数	人	目標	1,550	1,550	1,500	1,500
			実績	1,484	1,424	1,483	
			目標				
			実績				

事業の自己評価

平成26年度の実施結果	事業の達成状況	小牧市文化協会加盟団体の発表の場である総合文化祭と文化に関する事業の企画を行い、会員相互のコミュニケーションとレベルアップにつながった。また、次世代を担う子どもたちに対して、ジュニア育成文化活動や夏休み子ども文化体験教室を通して、文化に触れる機会をつくり文化の重要性を伝えた。 なお、小牧の文化発行は団体からの原稿の提出期日が過ぎ、遅れたため発行を見送った。		
	事業実施における課題	文化協会・文芸協会の会員が、固定化及び高齢化している。さらなる発展につなげるためには、新しい会員の確保と次のリーダーを担える人材育成ができる体制づくりが必要である。		
	事業を縮小・廃止したときの影響	文化振興指導員による運営・育成指導ができなくなり、市内文化団体の活動が停滞し小牧市の文化振興の推進に支障をきたす。		
平成27年度の改善内容	27年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	前年度、発行を見送った小牧の文化第50号を発行し、市内全戸配布をした。51号以降は市内回覧にできるよう見直しをする。 一般事務事業において、平成26年度には、文化振興ビジョン中間見直しに係るアンケート調査を実施した。調査報告書をもとに、平成23年度に策定した市文化振興ビジョンの改訂版を作成する。そのなかの重点的な取り組みとして文化財団設立について、市文化協会加盟団体等にヒアリングを行いながら検討を図り、文化振興ビジョン改訂版作成において、団体育成の方向を決めていく。		
平成28年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの (対象や手段を見直す場合も含む)	
	判定理由	文化協会・文芸協会ともに自立した発展を望むが、市の支援なしでは運営が難しい。文化団体の育成・指導の方法を検討し、団体活動の向上を目指す。		
	28年度以降の改善案	団体の発表の場である総合文化祭の内容を充実させるとともに、次世代を担う子どもたちへ伝統文化が身近に感じられるように工夫をする指導をしていく。また、文芸協会は、活動が学校に活かされる形になったので、学校ともつながりが持てるよう指導していく。 また、平成30年度は東尾張芸能大会が小牧市での開催となり、31年度は東尾張連絡協議会の事務局を小牧市が担当する予定のため、事務体制の見直しを図る必要がある。		

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。